

シニアドライバーの皆さんへ

高齢運転者の交通事故!

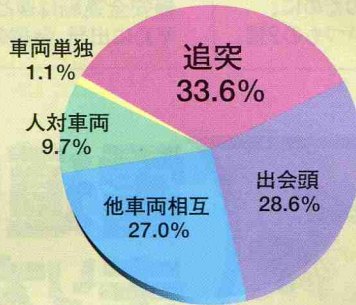
県内の交通事故の発生件数は、この10年間で8割に減少しています。その一方、高齢運転者の交通事故は、年々増加傾向をみせ、1.3倍まで増加しています。平成25年9月末現在、高齢運転者が第1当事者となった交通事故は1,045件(前年比+44件)。死者数11人(同+1人)。重・軽傷者1,328人(同+78人)でした。事故の類型では、追突事故が約34%を占め、違反別では、安全不確認が約35%となっています。

**増えて
います!**

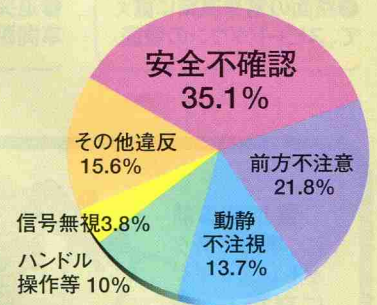
高齢運転者交通事故の特徴

- **運転能力の低下による操作ミスが多い**
年齢と共に、自分の運転能力が低下している事に自覚がないため、事故にいたる事が多い。
- **交差点での発生が多い**
交差点や交差点付近で事故の約6割が発生。
- **出会頭に衝突するケースが多い**
事故の類型別では、出会頭の事故が占める割合が他の世代より高い。
- **安全不確認による事故発生が多い**
事故の原因は、安全不確認が35.1%と最多で、前方不注意の21.8%、動静不注視の13.7%を加えると、いわゆる“ぼんやり運転”によるものが7割強と大半を占めている。

類型別 高齢運転者の事故



違反別 高齢運転者の事故



安全運転のポイント

- **頭を動かしてしっかり安全確認を**
歩行者、対向車、信号など、目だけでなく頭を動かして確認範囲を広げ、見落しをなくしましょう。
- **交差点では細心の注意を**
交差点では対向車だけではなく、横断中の歩行者、自転車などにも細心の注意をはらって、慎重に進行しましょう。
- **注意力散漫にならぬよう、運転に集中**
考え事や脇見で、発見が遅れぬよう注意しましょう。
- **早め点灯を励行しましょう**
薄暮時は早め点灯で、自車を目立たせましょう。
- **高齢者マークをつけましょう**
70歳以上の運転者は高齢者マークをつけましょう。
- **自分の運転能力を自覚しましょう**

交通安全講習会、実技研修、運転適性検査などを定期的に受けて、自分の運転能力の変化をチェックしましょう。適性検査で支障が見つかったり、能力の衰えを自覚したら運転免許を自主返納しましょう。

※運転免許証を返納すると、身分証明になるものが無くて不便、という方に。免許証返納時、または返納後1ヵ月以内に、希望される方には、氏名、住所、写真などが記載され、身分証明になる免許証と同じスタイルの「運転経歴証明書」が県の公安委員会から交付されます。
●詳しくは最寄の警察署または運転免許センターへ

適応判断能力

状況を素早く、的確に判断する力

認知能力

動体視力、深視力など、運転中に周囲の動静を視認する力

反応能力

必要な動作・運転操作を瞬時に実行できる力

おとろえていませんか? あなたの運転力